

# 9月定例会

— 議案審議の状況 —

平成 27 年第 3 回定例会は、8 月 28 日から 22 日間の会期で開かれました。十和田市個人番号の利用に関する条例を初め、議案 16 件（議員提出議案 5 件含む）、報告 6 件、認定 9 件、同意 1 件が上程され、同意 1 件は否決、その他は原案のとおり可決されました。

## 十和田市個人番号の利用に関する条例の制定

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関し必要な事項を定めるためのもの。

### 主な質疑

#### Q どんなメリットがあるのか。

A 年金や福祉などの申請の際に用意しなければならない添付書類が減り、行政上の手続が簡素化されること、所得や行政サービスの受給状況が把握しやすくなり、公平な負担と適正なサービス受給が図られることなどが挙げられます。また、個人番号カードにより本人確認とマイナンバーの確認が 1 枚で済むなどのメリットがあります。

#### Q 情報が丸裸にされるような感じがするが。

A 個人番号カードには住所、氏名、生年月日、性別、個人番号、本人の顔写真が記録され、財産収入や税、年金の情報などプライバシー性の高い情報は記録されません。またカードの利用に当たって顔写真や暗証番号が設定され、通信も暗号化して行われること、万が一紛失・盗難にあった場合は 24 時間 365 日専用ダイヤルで対応し、カードの利用を止める体制が整えられているなど、個人情報の漏えいについては万全のセキュリティが施されていると認識しています。

## 平成27年度一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ 4 億 4,732 万 9,000 円を追加し、それぞれの総額は 296 億 9,386 万 8,000 円となる。

歳出の主なものは、公共交通の維持対策のための負担金及び補助金、ふるさと納税寄附金の件数の増加に伴う寄附者への謝礼等に要する経費、公共施設整備基金積立金及び電源立地地域対策事業基金積立金並びに寄附による地域振興基金積立金及び子ども夢チャレンジ基金積立金、中心市街地の活性化に係る調査事業に要する経費、日本自動車連盟との観光連携協定に係る負担金、上十三・十和田湖広域定住自立圏域への観光客誘致を促進するための観光ガイドブック制作実行委員会に係る負担金及び蕨温泉公衆トイレの国際化及び老朽化対策のための改築に向けた実施設計業務委託料など。

## 十和田市議会会議規則の一部を改正する規則の制定

出産により会議及び委員会に出席できない場合について、これを欠席理由として明確化するためのもの。

### その他可決した主な議案

#### ◇行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

（同法の施行に伴い、現行の関係条例 5 件について所要の整備をするためのもの）

#### ◇十和田市地方卸売市場条例を廃止する条例の制定

（民営化に伴い平成 28 年 3 月 31 日をもって地方卸売市場を廃止するとともに、関係条例の所要の改正をするためのもの）